

平成30年度生活保護システム構築業務 審査基準書

	項目	内容	配点
1	全体的な要件	生活保護制度の規定等を理解した提案となっているか 他自治体への導入実績と評価 事業内容の変更や機能拡張に対する柔軟性 見やすさ、使いやすさ、画面展開の工夫 入力データや計算・印刷を確実にするための工夫	70
2	機能	機能要件を満たしているか、代替案は妥当であるか データ入力の容易性、機能性、効率化への工夫 データ入力ミス防止への配慮 高度な分析や二次利用を容易にする工夫	75
3	システム	信頼性やレスポンスの向上を図るための工夫 システムやプログラムの具体的な安全性対策 情報漏えいやマルウェア対策の考え方 データバックアップの手法、考え方、復旧手順等	40
4	構築体制	実施体制および総括責任者等の業務実績 プロジェクト管理と役割分担は適切であるか スケジュールの現実性及び妥当性 データ移行の手法と考え方 理解を深めるための工夫	30
5	運用保守	運用後の保守やサポート体制に対する考え方 トラブル発生時やシステムに対する質問への対応 稼働後の運用保守の内容及びコストの妥当性	50
6	その他	仕様書に記載された以外の機能で有益な提案 構築や保守において県内企業を活用する提案があるか	15
7	価格点	計算式: (1 - システム導入に係る見積価格 / 予算限度額) × 40	40
	合計		320